

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

京丹波町立和知小学校（京都府）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 共有することの良さを広げる

＜考察＞

本校では児童の「なぜ？」と思うことを「めあて」として学習を進めている。児童によって全く同じめあてはないので、「めあて」を共有することで、自分と同じ考えをもっている友達がいることを知ったり、新たな気付きが生まれ「めあて」をブラッシュアップさせる児童も見られた。

1人学びでは、他者参照させることで、児童の考えのヒントになったり、自分の考えに自信をもったりすることができる。また、友達の考えと比べて、なぜそのように考えたのか新たな疑問が生まれ、自然と対話が始まっていく姿も次第に増えていった。しかし、最初からできたというわけではない。教師が「～さんの考えはおもしろいね。」「～はこう考えたんだね。」「～さんは、なぜこんなふうに考えたのかな？」と呟くことで、児童の学びを止めることなく自然と友達の考えに向かわせることができたのが他者参照が進んだ1つのきっかけとなった。

自由進度学習では、基本的には自分1人で学びを進めていく。分からないことや自分の考えに自信がもてない児童が出てくるのが当然である。そんな時に、教師が答えを教えるのではなく「～さんも同じところで悩んでいたよ。」「～さんがヒントになる考えてしていたよ。」と友達の様子を伝えることで自然と他者参照する姿が増えていった。

今日は、だれか1人でしょせんしてみたいと思います。どの数とくらいうごくのかにきをつけてみたいと思います。

今日は小数のたし算をします。わたしは、ふくしゅうもんだいのときでいて、かいたらせいかいだったのが今日もせいかいになるようにがんばります。

① 小数のたしざんをする。
② 0.1が何こになるか。考えながら小数のたしざんをしていこう。

